

添付資料①

JAL 仁和寺音舞台 出演者プロフィール

☆ シセル/Sissel

ノルウェー第2の都市ベルゲン生まれ。7歳の時に聖歌隊で歌い始めた。
1986年、アーティストの登竜門「ユーロヴィジョン・ソング・コンテスト」国内大会で最終審査に残り、“天使の声を持つ少女”として国民的な注目を浴びる。
その後、16歳でデビュー・アルバム「Sissel」を発表、1987年「GladeJul」、1989年「SoraMoria」をリリース。この3作のアルバム合計は、人口400万人のノルウェーで150万枚の記録的セールスとなった。
1994年、リレハンメル冬季オリンピック開会式でオフィシャル・テーマ曲「ファイアー・イン・ユア・ハート」を熱唱。
また、欧州全域で放送されたコンサートでは、ドミンゴとステージを共にした。透明感と力強さにあふれる美しい声は、世界の人々に感動を与えている。

☆ ロランド・ヴィラゾン/Rolando Villazon

1972年メキシコ市生まれ。11才で音楽の勉強を始め、1990年にアルトゥーロ・ニエトとの出会いによりオペラの世界へと導かれる。
2年後には国際音楽学院に入学し、メキシコ市の国際音楽コンクールで受賞後、歌手活動を開始。昨シーズンには《椿姫》でルネ・フレミングの相手役としてメトロポリタン歌劇場にデビュー。
さらに今夏、ザルツブルグ音楽祭に出演するなど、欧米で最も注目される若手テノールの1人として話題をさらっている。

以上

添付資料②

「JAL 音舞台」の歴史

過去 17 回の開催日、場所、主な出演アーティストは以下の通りです。

	開催日	開催場所	主な出演アーティスト
第 1 回	1989 年 9 月 29 日	金閣寺	鮫島 有美子(ソプラノ) 圓城 三花(フルート) マリア・バックマン(バイオリン) 他
第 2 回	1990 年 5 月 12 日	泉涌寺	パオロ・バルバチャーニ(テノール) 西村 由紀江(ピアノ)、伊藤 多喜雄グループ(民謡) 中村 児太郎・橋之助(歌舞伎) 他
第 3 回	1990 年 9 月 29 日	三千院	イゴル・アルダシェフ(ピアノ)、小倉 直子(ピアノ) ピエール・ピエルノ(オーボエ) 松本 美和子(ソプラノ) 他
第 4 回	1991 年 9 月 20・21 日	清水寺	ニューヨーク・シティ・バレエ 坂田 美子(薩摩琵琶) ギィ・トゥーブラン・フランス金管五重奏団 他
第 5 回	1992 年 9 月 26 日	平等院	スタニスラフ・ブーニン(ピアノ) 中丸 三千繪(ソプラノ) 他
第 6 回	1993 年 9 月 5 日	東寺	佐藤 しのぶ(ソプラノ) 林 英哲グループ(和太鼓) ダンス・シアター・オブ・ハーレム(バレエ) 他
第 7 回	1994 年 9 月 10 日	泉涌寺	冨田 勲(シンセサイザー)、熊本 マリ(ピアノ) 五十嵐 麻利江(ソプラノ) クシャクタ(フォルクローレ) 他
第 8 回	1995 年 9 月 9 日	東寺	ヤニー(シンセサイザー) 錦織 健(テノール) 他
第 9 回	1996 年 9 月 7 日	延暦寺	キリ・テ・カナワ(ソプラノ) 長澤 真澄(ハープ) 他
第 10 回	1997 年 9 月 6 日	金閣寺	井上 道義(音楽監督)、野村 萬斎(狂言) 東儀 秀樹(雅楽) NY フィル選抜メンバー 他
第 11 回	1998 年 9 月 5 日	醍醐寺	久石 譲(音楽監督) ディーブ・フォレスト(ワールドポップス) バラネスク・カルテット(弦楽四重奏) 他
第 12 回	1999 年 9 月 4 日	大覚寺	斉藤 恒芳(音楽監督) マルセル・マルソー(パントマイム) ベレン・マジャ(フラメンコ) シークレット・ガーデン(ワールドポップス) 他
第 13 回	2000 年 9 月 9 日	清水寺	姫神(シンセサイザー) エヴィア(エレクトロニック・バグパイプ) クリスティーナ・レイコ・クーパー(チェロ) ローラ・フラウチ(ヴァイオリン) 他

第 14 回	2001 年 9 月 15 日	二条城	服部克久(音楽監督) イジー(ソプラノ) チェン・ミン(二胡)、玉野 和紀(タップダンス) 藤舎名生(横笛) 他
第 15 回	2002 年 7 月 14 日	法隆寺	東儀秀樹(音楽監督) ホセ・カレーラス(テノール) アジナイホール(馬頭琴) 他
第 16 回	2003 年 9 月 7 日	萬福寺	サラ・ブライトマン(ソプラノ) ユンディ・リ(ピアノ) ジャン・シャオチン(古箏) 他
第 17 回	2004 年 9 月 11 日	薬師寺	女子十二楽坊(ヒーリング／インスト) マルタ・セベスチャーン(ハンガリー民謡) ジョン・健・ヌッツオ(テノール) 中村勘太郎 他